



Yuri's Night JAPAN 2007 報告書

1. Yuri's Night JAPAN 活動報告

2. 「Yuri's Night JAPAN 2007」各会場詳細
 - 2.1. 秋田会場
 - 2.2. 筑波会場
 - 2.3. 横浜会場

3. 添付資料



文責

宇宙企画運営会 (SPC)

Yuri's Night JAPAN2007

実行委員会

代表 山下 浩史

(株)アストロリサーチ

宇宙システム事業部

1. Yuri's Night JAPAN 活動報告

1.1. 活動概要

今年は4月12日から14日まで、日本全国3都市計6イベントにわたってYuri's Nightが開催されました。宇宙企画運営会（SPC）Yuri's Night JAPAN 2007 実行委員会（以下「実行委員会」）では、会場間の情報交換のために以下の活動を行いました。

(1)メーリングリストの管理

過去に関わった方も含め、総勢36名が会員登録されているメーリングリストで、2年前から継続して使用しています。これからもYuri's Night Japan 全体への連絡・報告に使用していきます。

(2)Yuri's Night Japan 公式ホームページの作成・管理

新たにWeb担当が2007のホームページを作成し、随時、情報を更新しました。

1.2. 主催者側から

4月12日から14日にかけて、3都市計6ヶ所の会場で「Yuri's Night JAPAN」が開催されました。このイベントは2001年に始まり、今年で6周年を迎えました。会場は、毎年行っている東京と大阪での開催が断念したものの、今年新たに横浜と筑波を加え、知名度も年々上がっています。

さて、海外に目を向けますと、今年の参加国は35カ国、3Dバーチャル空間「Second Life」も含めた126会場でYuri's Nightが開催されました。アメリカではNASAエイムズリサーチセンターの格納庫でレイブイベントが開催されました。「4月12日に宇宙好きが集まればYuri's Night」というように、イベントの形式・内容は非常に多彩です。

Yuri's Night 2007は終了しましたが、これからも宇宙というコンテンツを利用して社会に貢献できる様々な活動を行っていきたいと思います。このような活動を、これまでのように一度きりで終わらせるのではなく、社会から見て一つの流れとして捉えてもらえれば、一般の人が、日頃自分には遠い存在と思いがちな宇宙開発の最新の動向に触れて頂ける機会も増えると思います。そのためにも、実行委員会のスタッフ一同、地域や市民団体と協力して、より間口の広い、楽しくかつ有意義な企画で、これからの日本の宇宙活動の発展と地球環境の保全、国際協力の促進に、幅広い層のご理解・ご支持を得るために努力して参りますので、今後ともご協力・ご支援の程よろしくお願い致します。

Yuri's Night JAPAN 2007 実行委員会

代表 山下 浩史

2. 「Yuri's Night JAPAN 2007」各会場詳細

2.1. 秋田会場

名称

Yuri's Night 2007 4月12日(木)

主催機関などの名称

秋田大学学生宇宙プロジェクト (ASSP)

2.2. 筑波会場

Yuri's Night in TSUKUBA 報告書

筑波大学宇宙技術プロジェクト[STEP]

関口 裕也

I、名称

Yuri's Night in TSUKUBA

II、開催時期

YUNIT/MOON：4月13日金曜19：00～21：00

YUNIT/SUN：4月14日土曜10：00～16：30

III、開催場所

YUNIT/MOON：筑波大学第三学群食堂

YUNIT/SUN：筑波大学虹の広場

IV、主催機関などの名称

主催：筑波大学宇宙技術プロジェクト Yuri's Night in TSUKUBA 事務局

筑波事務局：関口 裕也（筑波大学工学システム学類3年）

上道 茜（同上）

岡田 悠図（同上）

協力：筑波大学の諸先生方

V、開催目的

人類がはじめて地球から宇宙へと飛び出したこの日を多くの人と祝い、あらゆる人が“宇宙”へ関心を抱けるきっかけを作る。

上記の主目的に関連し副目的を以下とする。

- ① 筑波大の新入生を歓迎する。
- ② 新入生と在学生との交流の機会を作る。
- ③ あらゆる人に宇宙への関心をあおる。
- ④ あらゆる人に宇宙に興味のある人々との交流の機会を作る。
- ⑤ 筑波大に在籍する人々の宇宙への取り組みを知り、在学生・新入生に誇りを持って

らう。

VI、当日プログラムなど

YUNIT/MOON:立食形式のパーティ

- 18:45~19:00 受付
- 19:00~19:05 乾杯
- 19:10~19:40 TAKOYAKI
- 19:40~20:00 STEP 紹介企画
- 20:10~20:35 クイズ企画
- 20:35~21:00 フリースペース
- 21:00 解散

YUNIT/SUN:モデルロケット打ち上げ体験会

- 10:00~16:30 Rocket on the launch!

当日の様子





主催者側から

Ⅶ、振り返って

我々の団体として行ったはじめてのイベントであり、ノウハウなどが無かったため、いろいろと困難がおおかった。

一日目には、20名前後の外部の方にお越しいただき、初回としては成功であったように思う。特にクイズ企画では、来場者にお楽しみいただけたように思う。

二日目は、少ない人数ではあったが、楽しんでいただけたように思う。ただ、今後YUNIT/SUNのような企画をやるならば、的を中高生などに絞って行うべきだと思う。

筑波会場
代表 関口 裕也

2.3. 横浜会場

I、名称

Yuri' s Night 2007 in YOKOHAMA

II、開催時期

☆ Anniversary Party : 2007年4月12日(木)

☆ Space & Technology Museum Tour、 Spacial Club Event : 2007年4月14日(土)

III、開催場所

横浜市

IV、主催機関などの名称

主催 : Yuri's Night JAPAN 2007 実行委員会

企画・運営 : 横浜事務局、スペースビルディング

V、開催目的

- これまでの人類の宇宙開発や未知への挑戦の成功を祝福し、宇宙の神秘と地球の尊さを人類全体で共有する。
- 宇宙開発を初めとする科学技術のあり方や地球社会の解決すべき問題を考え、この惑星とそこに住まう私たち人類の未来のために今後すべきことを模索し、共有できる機会を作る。

宇宙に関する活動に初めて参加する人にとって、宇宙開発の現状がどうなっているのかを知っていただき、新たに参加していただく機会を提供することを目的とする。

コンセプト

このイベントを通じて解決したい問題を以下に列挙する。

- ①宇宙関係者と一般市民のつながりが薄い。
- ②宇宙開発の発展を願う全国的ネットワークの継続的拡大
- ③宇宙をキーワードに人が集まり、情報や意識を共有できる場があまりない。

これらの問題を具体的に解決する方針を以下に示す。

『宇宙関係者と一般市民が宇宙に限定しない様々なトピック（環境、政治、学生生活など）で語り合うことで親交を深め、継続的なネットワーク拡大の場を提供するコンテンツを提供する。』

☆Anniversary Party～【地球は青かった】と君が言ったから、4月12日は宇宙記念日～

日時・会場

2007年4月12日(木) 17:30～翌2:00

Palm Cafe

(JR横須賀線保土ヶ谷駅東口すぐ松屋2階)

<http://www16.ocn.ne.jp/~kabu-fun/>

当日の様子



駅前の入り口の様子



巨大スクリーンには映像



しっとりとBARを楽しむ

☆Space & Technology Museum Tour～翔こう！宇宙へ、君のハートにエンジン点火～

日時・会場

2007年4月14日(土) 14:00～15:30

三菱みなとみらい技術館

(みなとみらい線みなとみらい駅徒歩3分、JR根岸線桜木町駅徒歩8分)

当日の様子

参加者が集まらなかったため、担当者のみ見学。実質中止。

☆Yuri's Night 2007 in YOKOHAMA Spacial Club Event～やっぱりそらが好きだから～

日時・会場

2007年4月14日(土) 16:30～21:30

受付・開場 16:30 開演 17:00 終了 21:30 撤収 22:00

Lost&Found (みなとみらい線大通り駅徒歩5分、JR根岸線関内駅徒歩10分)

<http://www.lostandfound.co.jp/>

当日の様子



ガガーリン人形とのしろケットちゃん



編鐘 LIVE のリハーサル



お待たせしました、いよいよ OPENING



サプライズなお祝いメッセージも！



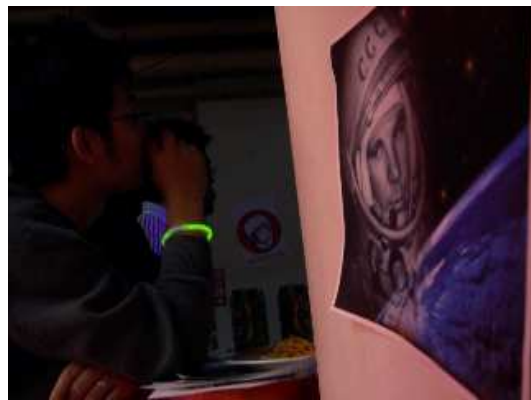
どんな人が来てるかな？



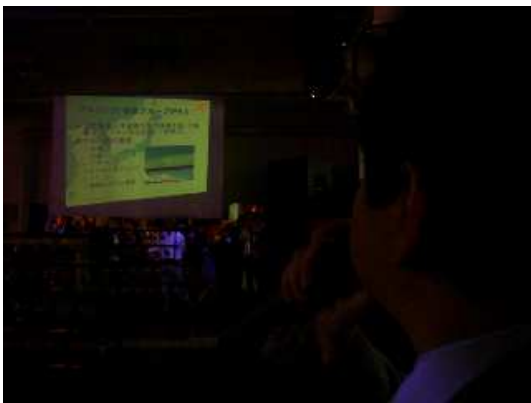
満面の笑み



ビール片手に熱いトーク？



ガガーリンが見てる！



有人ロケット研究会のプレゼン



真剣な眼差しの若者とシニアエンジニア



宴もたけなわ



記念撮影～！

主催者から

横浜での Yuri' s Night は初開催。社会人と学生が協力し、海外の形式に近づけようと14日は、「CLUB を貸切る」という初の試みに挑戦しました。組織体制、会場打ち合わせ、準備、参加者集めなど、開催までに難しい問題もありましたが、至らぬ点もあったものの、

無事に開催することができて、新しい Yuri' s Night への第一歩が踏み出せたと思っています。

12日の Anniversary Party では、私の地元の BAR を Yuri' s Night 用にアレンジして、通常営業の中で開催しました。当日は、Yuri' s Night 関係者や仕事の同僚、一般への Yuri' s Night の案内を見て来店した宇宙好きの方、普通にお店に立ち寄ったお客など、延べ約 25 名の来店がありました。お店の落ち着いた雰囲気の中にも、一部、宇宙技術や放映された映像の話で盛り上がる来店者が見受けられるなど、自然な形でこの人類共通の記念日に楽しいひと時を過ごされたことと思います。たまたま来店した外国人留学生に、「今日は宇宙の記念日です」とご案内すると、「宇宙進出も大事かもしれないが、地球環境の保全の方がずっと大事だと思う」と言われ、その後、私たち人類社会の抱える様々な問題や文化の違いなどについて、深く、かつ友好的な会話を楽しめたことが印象に残っています。昨年の愛知会場 Part2 同様、各自が自分の地元で、企画規模に無理がない程度にささやかに知人や地元の人たちとお祝いするという形式も、もっと広がって日本各地で行われるようになってくれることを願っています。

14日の Spacial Club Event 当日は、約 50 名の参加者が集いました。開始直前に会場にサプライズメッセージも届き、人類初飛行をお祝いする日にふさわしい、最新の宇宙旅行と有人宇宙機開発プロジェクトのプレゼン。宇宙の神秘を感じさせる編鐘 LIVE。Space Ship One や Space Shuttle の初飛行の映像をバックに、DJ の繰り出すユーロサウンド、リクエスト曲などが流れる、宇宙と音楽の mix した普段とは一味違った雰囲気の中で、参加者同士の話も大変盛り上がっていたようです。BINGO GAME では、月焼きなどの豪華賞品が当たった参加者は、とても嬉しそうでした。夢の語り場では、私たちの想いを語ることも出来、ENDING では、地球のかけがえのなさと、未来を担う若者や子供たちへの責任を改めて実感しました。立地や企画打ち出しの時期・方法などで参加者集めにも苦勞しましたが、東京開催が見送られた中、日本での Yuri' s Night の核となるイベントの一つ持てたことは、Yuri' s Night という襷が日本でも次に繋がったという意味で評価できると思います。

このイベントをきっかけに、宇宙への熱い想いを共有できる仲間との出会いが、今後の参加者の新しいチャレンジへの勇気を少しでも与えてくれたら、主催者として誇りに思います。私自身は、当日参加していただいた皆さんから、勇気をたくさん貰いました。

今回の横浜での開催にあたり、有人ロケット研究会員をはじめ、様々な著名人、社会人、学生の方々に多大なご協力をいただきました。このようなたくさんの皆さんのご協力に対して、心から御礼申し上げます。これからも Yuri' s Night を国際都市横浜にて開催していきたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご協力、ご支援、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

Yuri' s Night 2007 in YOKOHAMA 事務局

山下 浩史

3. 添付資料

今回ご支援を頂いた企業・団体をご紹介します。

企業・団体名	口数
宇宙観光企画	1
私立二葉幼稚園	1
株式会社アストロリサーチ	1
有人ロケット研究会	1
宇宙システム開発株式会社	1
有機音工房	2
スペースビルディング	1
Google	\$ 800
ステラ精密株式会社	1

※ 敬称略、順不同

※ 1口 10,000 円のご支援を頂きました。

これらの支援金は、Yuri's Night JAPAN 実行委員会運営費及び横浜会場にて使わせて頂きました。

